

製品名: KAT13A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01474**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 157 kDa; Observed MW: 157 kDa

抗原情報

遺伝子名	NCOA1
別名	bHLHe74; mNRC 1; NCoA 1; RIP160; SRC 1
遺伝子 ID	8648
SwissProt ID	Q15788
免疫原	ヒト SRC1 の組み換えタンパク質

背景

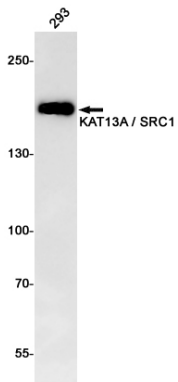
核内受容体コアクチベーターは、核内受容体に直接結合し、ホルモン依存的に転写活性を刺激します。ステロイド（プロスタグラン

ジン E、グリシン G、エストロゲン受容体)、レチノイド (レチノイド受容体)、甲状腺ホルモン (TR)、プロスタノイド (PPAR) など、様々な核内受容体のコアクチベーターとして機能します。

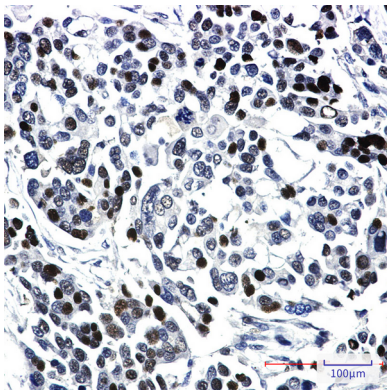
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



KAT13A 抗体を使用した 293 溶解物中の KAT13A / SRC1 のウエスタンブロット分析。



SRC1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。